

2011/10/06(木)10:42

科目番号	授業科目		英語科目名	単位
21471	プログラミング入門 A		Programming Primer A	2.0
開講期	曜日・時限	授業形態	担当教員	
2011年度 後期	木曜3限	講義および演習	今野 英明	
授業内容	コンピュータ・プログラミングの初心者を対象として、C 言語を用いたプログラミングの基礎的内容の講義とUNIX 上での演習を行う。			
授業の位置づけ				
授業の目標	C 言語の学習を通じてコンピュータプログラミングの基礎的素養や技法を身につける。			
到達目標	変数とデータ型、制御構造および関数呼び出しについて理解し、自力でアルゴリズムを考えて短い C プログラムを書けるようになること。よいプログラミング作法を身に付けること。			
授業計画	第1週: 授業内容の紹介とプログラミング環境 第2週: プログラムの作成と実行 第3週: 簡単な C プログラム 1 (テキストの印字) 第4週: 簡単な C プログラム 2 (算術計算) 第5週: 制御構造と if 選択構造 第6週: if/else 選択構造 第7週: switch多重選択と論理演算子 第8週: while 反復構造 第9週: 算術代入文とfor反復構造 第10週: 入れ子構造と do/while 反復 第11週: break, continue と構造化プログラミングのまとめ 第12週: データ型 (文字, 整数と浮動小数点数) 第13週: 浮動小数点数の利用 第14週: 関数の概要と関数呼び出し 第15週: 試験			
成績評価	期末試験の成績 (50%) とプログラミング課題の提出状況と内容 (50%)により評価する。 ただし、試験結果が合格点に達しない場合には、出席や課題の提出状況にかかわらず、授業は不合格とする。 やむを得ぬ理由がある場合を除き、欠席する毎に評価から減点する。			
教職チェックリスト	学習指導力 それぞれの専攻・分野における講義・演習などを通して、専門領域 (科目) で求められる基礎的あるいは専門的な知識や技能を発達段階・学年の進行に伴ってより深く理解し、習得する。・専門領域 (科目) で求められる論理的な思考力や表現力を身につけるとともに、専門領域 (科目) の様々な事象に対する関心や意欲を育む。・追求すべき問題を見つけ、必要な資料や文献を収集・分析・活用しながら、問題を解決していくための基本的な技能を習得する。・資料・文献を分析し、得られた知識や情報、それに対する自分なりの見解を適切にまとめ、発表する。・研究についての基本的事項を身につけ、研究の成果を発表する。			
テキスト	指定しない。 web 上に資料を用意する。			
参考文献	「C 言語プログラミング」H. M. ダイテル, P. J. ダイテル (ピアソンエデュケーション) 「情報処理技術者テキスト プログラミング入門 C 言語」財団法人 日本情報処理開発協会 監修 (実教出版) 「改訂 新 C 言語入門 ビギナー編」林 晴比古 著 (ソフトバンク) 「改訂第 3 版 C 言語入門」L. Hancock, M. Krieger, S. Zamir 著 (アスキー) 「プログラミング言語 C 第 2 版」B. W. カーニハン, D. M. リッチー 著 (共立出版)			
オフィス・アワー	月曜日・5時限・研究室 (メール予約があれば随時)			
備考 (履修条件・履修上の注意等)	Aクラスは主に情報科学専攻基礎情報分野1年生以外の学生を対象とする。 受講希望者が多い場合には、人数調整を行う可能性があるため、事前連絡なしに初回授業を欠席しないこと。 授業資料等は http://echoes.hak.hokkyodai.ac.jp/db/584/ に置く。			